



機械科通信

酒田光陵高校機械科

第4号

平成26年7月17日

◆部活動でも大活躍！機械科！！

前回の機械科通信でお知らせしたボート部の湯瀬さんだけではなく、機械科の生徒は様々な部活動で大活躍をしています。県総体の結果の一部を紹介します。

◀インターハイ出場▶

○湯瀬 彩弓さん(3年機械科)・・・シングルスカル優勝(ボート部)

○加藤 修造くん(2年機械科)・・・ウェイトリフティング階級別優勝

◀東北大会出場▶

○荒生 大瑛くん(3年機械)・・・バタフライ100・200m

400・800mリレー

400mメドレーリレー(水泳部)



○氏家 真也くん(2年機械)・・・ウェイトリフティング階級別優勝

○池田里花子さん(2年機械)・・・舵手付きクオドルプル準優勝(ボート部)

○太田 奏くん(2年機械)・・・ものづくりコンテスト普通旋盤(メカニカル部)

○笹原 隼人くん(1年機械)・・・400・1500m自由形、800mリレー(水泳部)

○村上 優真くん(1年機械)・・・100・200m平泳ぎ、400・800mリレー

メドレーリレー(水泳部)



上記以外の部活動もが県大会出場を果たしています。

◆ジュニアマイスターについて

今この原稿を書いている7月中旬は前期ジュニアマイスターの申し込み期間中です。2・3年生は承知のことと思いますが1年生のために、本校そして機械科の取り組み状況や実績を記したいと思います。

ジュニアマイスター(以下JM)とは社団法人全国工業高等学校長協会が高校生

の取得した資格や、コンテストの入賞実績について、その難易度によって点数化し、合計が30点以上ならばシルバー、45点以上ならばゴールドの称号を与えるものです。難易度によって点数が違うので、容易な資格を多数とつてもJMIに認定されるのは難しいでしょう。

本校の平成25年度の実績では、JMゴールドが**26名**誕生しました。この数字がどの位多いかというと、山形県全体でたった**59名**しか認定されていません。実に本校が**44.1%**を占めており、その占有率は圧倒的に高いのです。本校は工業科が学年4クラスと他の工業高校に比べて決して大規模校とは言えません。しかし、いかに意欲的に資格を取得する優秀な生徒が多いかがわかつて思います。



JMのゴールドとシルバーまでは2・3年生でもわかつていますが、実はその上の表彰があるのを知っていますか？それをJM『特別表彰』と言います。この『特別表彰』の条件は以下の通りです。

○SかAクラスの資格を1種類以上取得していること。(30点か20点の資格)

○最多で8種類の資格の合計が60点以上であること。(コンテスト類は除く)

つまり易しい資格を数多く取っても、『特別表彰』に該当することはありません。この条件はゴールドの認定を受けるよりもはるかに難しいのです。

昨年度は本校で4名が特別表彰を受けました。そのうち**3名が機械科の先輩**なのです。**加藤大輝君**(県外就職)・**齋藤巽君**(県内就職)・**中山輝君**(県外就職)3名とも自分の第一希望の企業に内定をもらい、現在新入社員として頑張っています。



山形県全体でJM『特別表彰』が何名いるかは公開されていないので不明ですが、本校の場合ゴールド26名中4名なので僅か数名だと思っています。今はまだ7月です。まだまだ間に合うので是非挑戦してみてください。応援します！